

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 わくわくドキドキ かめだわんパーク
-------------------	--------------------------------

区分	番号	名 称
章	9	
節	9	
施策	9	
小分類	9	
主要な施策	9	
事務事業番号	179	事務事業コード 99999179 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	わくわくドキドキ かめだわんパーク
------	------	------------	-------------------

部 名	都市整備部	グループ名	都市計画・公園 G
-----	-------	-------	-----------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 亀田記念公園管理棟 2 階休憩室
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 亀田記念公園管理棟 2 階休憩室の改修及びキッズコーナーの設置などを行う。 ・ 1 階及び 2 階間仕切設置 ・ 階段部 手摺設置及びノンスリップ床張替 ・ 誘導灯設置 ・ 2 階休憩室窓 転落防止柵及び網設置 ・ キッズコーナー 木製遊具及びベビーベッド設置
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 亀田記念公園管理棟 2 階休憩室は公園利用者のフリースペースとして一般利用されているが、利用者がより安全・安心に利用できるよう休憩室の改修を行うとともに、休憩室の一部にキッズコーナーを設け子育て世代の利用促進を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	事業進捗率	%	目標値	100				
			実績値	100				
			目標値					
			実績値					

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称 地域活性化・公共投資交付金	千円	1,548					0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	764					0
	合 計				2,312	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	922	0			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		922	0			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 当該管理棟は、市が管理する公園施設であり安全・安心の確保と利用促進に向け、市が事業主体として実施するのは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ キッズコーナーなどの設置により、親子での利用が増えている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのように向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 今後、維持管理をより充実することにより、利用者の安全・安心を高め、利用促進が図られる。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業は、平成21年度で終了。

担当グループによる評価

終了	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	予定していたキッズコーナーの設置などは完了したことから、本事業は終了することとし、今後、耐震補強などを含め、管理棟全体の改修の中で、必要な改修を行っていくこととする。
----	----------------------	---

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力的に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）